

# 環境経営レポート

【レポートの対象期間：2024年1月～2024年12月】

有限会社 立川製作所



工場外景



工場内全景



ワイヤ加工機

## 《ご挨拶》

有限会社立川製作所は昭和48年創業以来、板金金型製造業として歩んでまいりました。製品難度が高くなるなかでも一貫した設計からの金型製作メーカーとして信頼される企業を目指しております。企業の規模も拡大の方向にあり、変革は環境にも与える影響が大きい事を受け止め、次頁の環境方針を基に環境活動を展開し、地球環境に優しい企業として環境への配慮も企業活動の大きな役割として捉え活動を進めております。。

以下、「環境経営レポート」としての取り組みをまとめましたので、私たちの取り組みをご高覧の上、ご指導、ご指摘をいただき次の環境活動に生かして行きたいと存じます。

有限会社 立川製作所  
代表取締役社長  
立川 和幸

## 《目次》

|                      |     |
|----------------------|-----|
| 1. 環境経営方針            | P-1 |
| 2. 事業活動の規模           | P-2 |
| 3. EA21推進体制          | P-3 |
| 4. 環境経営目標とその実績       | P-4 |
| 5. 環境活動の取組計画と評価      | P-5 |
| 6. 環境関連法規制の遵守        | P-6 |
| 7. 代表者による全体の評価と見直し指示 | P-6 |

## 環境経営方針

### 〔基本理念〕

私たちは、限りある資源・未来に伝えていかなければならない環境保護を認識し、大切さを訴え、地球環境保護に寄与していくことを目標とします。

### 〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取り組みます。

1. 当社の主力事業である、金型の設計・製作から板金プレス加工までの各領域において、技術的・経済的な事情を考慮の上、地球環境保護と自社の売上向上を相乗的に目指します。
2. 温暖化の主な原因である二酸化炭素を抑制する為、使用電力量・使用化石燃料の削減に取り組みます。
3. 廃棄物の排出状況を常に確認し削減、再利用に取り組みます。
4. 節水活動に勤め、水資源使用を節減します。
5. 環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境保護に関する目的・目標を設定し取り組みその結果をふまえ、定期的にあるいは必要に応じて見直します。
6. 適用される環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。
7. 全社員に環境理念を周知するとともに、社員の環境に関する意識の向上を図るために環境教育を行います。
8. 環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会の一員として地域・社会貢献活動の推進に努めます。

改定 2021年 1月 6日

有限会社 立川製作所

代表取締役 立川 和司 

## 2. 事業活動の規模

### 1. 事業所及び代表者名

有限会社 立川製作所  
代表取締役社長 立川 和幸

### 2. 所在地

本社 〒373-0036 群馬県太田市由良町1588-5  
工場 〒370-0313 群馬県太田市反町町94-2

### 3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役 立川 和幸  
環境管理責任者 : 代表取締役 立川 和幸  
担当 : E A 2 1 事務局 立川 郁子  
TEL : 0276-56-5234  
FAX : 0276-56-5193

### 4. 対象範囲

有限会社 立川製作所 全組織及び全活動（本社は登記のみのため対象外）

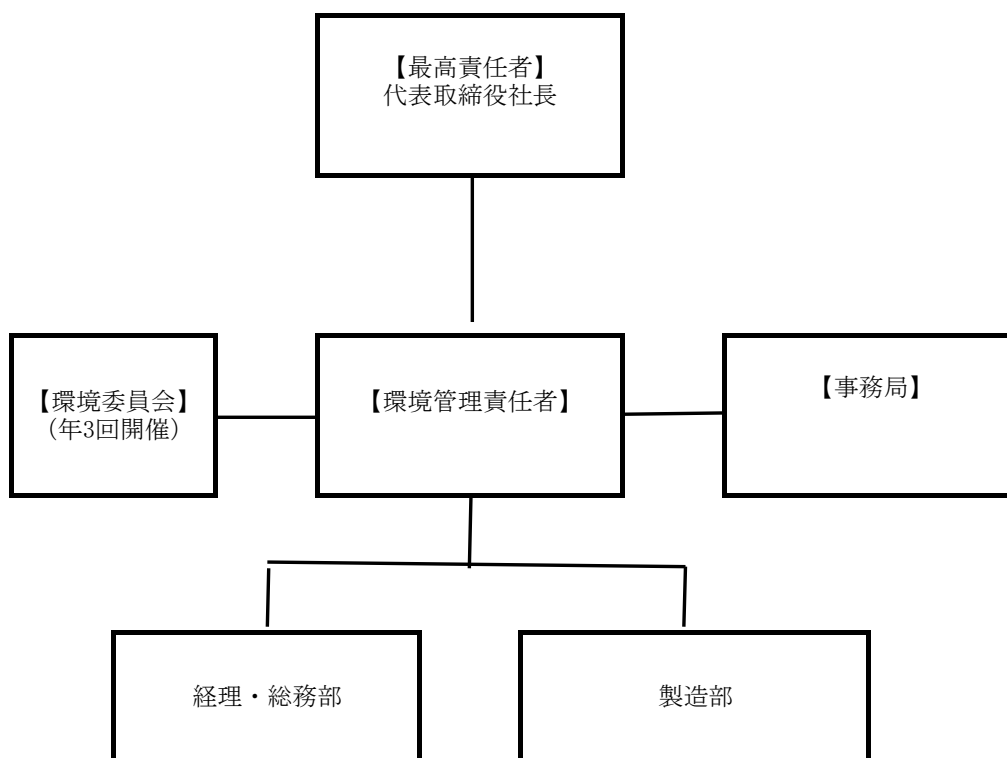
### 5. 事業の内容

板金(プレス)金型の設計・製造

### 6. 事業規模

| 活動規模  | 単位             | 2023年 | 2024年 |
|-------|----------------|-------|-------|
| 従業員数  | 人              | 9     | 10    |
| 延べ床面積 | m <sup>2</sup> | 623   | 623   |

### 3. エコアクション21 推進組織図



| 職名      | 役割                                                                                                                                                                                                            |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 最高責任者   | ①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。<br>②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。<br>③環境方針を制定する。<br>④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。 |
| 環境管理責任者 | ①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。<br>②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。                                                                                |
| 事務局     | ①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。                                                                                                                                                                   |
| 環境委員会   | 最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、年3回環境管理責任者が召集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。                                                                                                         |

## 4. 環境経営目標とその実績

### 1. 環境経営目標とその実績

購入電力の調整後排出係数は0.442Kg-CO<sub>2</sub>/KWh〔東京電力R1年度実績、R2年9月15日更新〕を使用しています

| 環境目標                                              | 基準値                            | 今年目標            |        |        |                  | 中長期目標         |               |
|---------------------------------------------------|--------------------------------|-----------------|--------|--------|------------------|---------------|---------------|
|                                                   | 2023年                          | 2024年           |        |        |                  | 2025年         | 2026年         |
|                                                   | 実績                             | 目標              | 目標値    | 実績     | 達成状況             | 目標            | 目標            |
| ①売上高100万円当たりの二酸化炭素排出量の削減(kg-CO <sub>2</sub> /百万円) | 494.08                         | 2023年実績に対して1%削減 | 489.14 | 470.80 | 基準値に対して4.7%減少した  | 2024年実績対比1%減  | 2025年実績対比1%減  |
| ②売上高100万円当たりの廃棄物排出量の削減(kg/百万円)                    | 24.41                          | 2023年実績に対して1%削減 | 24.17  | 21.84  | 基準値に対して10.6%減少した | 2024年実績対比1%減  | 2025年実績対比1%減  |
| ③売上高100万円当たりの水資源投入量の削減(m <sup>3</sup> )           | 0.582                          | 2023年実績に対して1%削減 | 0.576  | 0.49   | 基準値に対して16.5%減少した | 2024年実績対比1%減  | 2025年実績対比1%減  |
| ④3S活動の推進                                          | ①いらないものの整理②工具・サンプル整理③設備・身の回り清掃 | 活動推進            | —      | 活動推進   | 活動推進             | 活動推進          | 活動推進          |
| ⑤本業に関する目標納入後の顧客からのクレーム(要望)削減                      | 基準年2022年20件                    | マイナス1件          | 19件    | 18件    | 達成できた            | 2022年実績マイナス1件 | 2022年実績マイナス1件 |

### 2. 主な環境負荷実績

※化学物資の使用はありません

| 環境への負荷                         | 2023年  | 2024年  |
|--------------------------------|--------|--------|
| ①二酸化炭素排出量(kg-CO <sub>2</sub> ) | 58,549 | 61,021 |
| ②廃棄物排出量(kg)                    | 2,893  | 2,830  |
| ③水資源投入量(m <sup>3</sup> )       | 69     | 63     |

## 5. 環境活動計画の取組みと評価

\*2024年1月～12月の一年間の活動の取組みと評価をしております。

| 環境活動計画                                                                                                          | 環境活動計画の取組結果とその評価                                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 二酸化炭素排出量の削減<br>①空調温度適正化・表示<br>②照明・P C 不要時のO F F の推進<br>③エアコン清掃の実施<br>④エコドライブ推進<br>⑤社用車の点検・整備<br>⑥電力、ガソリン量の集計 | 活動計画を周知し年の後半はデマンドコントロールを利用し電気使用量の削減、時間差での機械起動、エコドライブを心掛けた。<br><br>次年度の取組内容<br>引き続き全員で活動していく また効率の良い電気量に見合った設備の使用確認（デマンドコントロール有効利用）       |
| 2. 廃棄物排出量の削減<br>①分別ルールの徹底<br>②廃棄物置場の整備<br>③産廃排出量の集計<br>④裏紙使用ルールの徹底                                              | 分別に対しての考えが浸透してきて裏紙の利用など積極的に行い削減につながってきている。引き続き計画目標に向かって取り組みを進める。<br><br>次年度の取組内容<br>引き続き分別ルール徹底全員で活動していく。商社に返却できるものは再利用してもらう。            |
| 3. 水資源投入量の削減<br>①毎月のメータの確認(漏水防止)<br>②節水表示(手洗い場・トイレ)<br>③増量ノズルへの交換<br>④トイレの節水                                    | 全員が計画目標に向かって節水に理解を示し活動した。<br><br>次年度の取組内容<br>引き続き全員での節水活動の実施                                                                             |
| 4. 3S活動<br>①整理<br>②整頓<br>③清掃                                                                                    | 日々の清掃は行えているが 普段使わない場所がおろそかであった大掃除の時はもちろんだが普段の清掃時にも取り入れる 整理・整頓も同様 活動が浸透して無駄な購入やダブりが減ってきた。<br><br>次年度の取組内容<br>引き続き活動する。3S活動だけの時間を設けてみる。    |
| 5. 本業に関する目標<br>納入後の顧客からのクレーム(要望)削減                                                                              | 金型設計・製作において顧客の立場になってやりやすさ/やりにくさを考え先手を打ってお客様に満足してらえる様活動し お客様からのクレーム(要望) が減らせた。 製作前の打ち合わせに抜けが無いよう徹底する<br><br>次年度の取組内容<br>引き続き削減のための活動を進める。 |

## 6. 環境関連法規制の遵守

### 1. 当社に適用となる主な環境関連法規

| 法規制等の名称  | 遵守事項                                      | 遵守状況 |
|----------|-------------------------------------------|------|
| 騒音規制法    | 特定施設の届出                                   | 遵法   |
| 振動規制法    | 特定施設の届出                                   | 遵法   |
| 浄化槽法     | 保守点検実施、法定検査実施                             | 遵法   |
| 廃棄物処理法   | 委託基準（契約書・許可証）、<br>マニフェスト交付・保存及び交<br>付状況報告 | 遵法   |
| フロン排出抑制法 | 簡易点検                                      | 遵法   |

### 2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

## 7. 代表者による全体の評価と見直し指示

環境問題に関して無駄をなくすことの重要性が浸透してきている。今年は23年売上に対してのCO2排出量、廃棄物量、水使用量のマイナス1%目標に対し達成できた。今後の取組として、更に全員で意識を共有化しPDCAサイクルにより、会社の環境負荷の低減にトップダウンで望んでいく。また電気使用量がCO2排出量の80%を占めているので導入したデマンドコントロールを活かし全社で取り組む。省エネ設備の検討。